

# 米価の下落

が懸念されます！

# 最大の減産

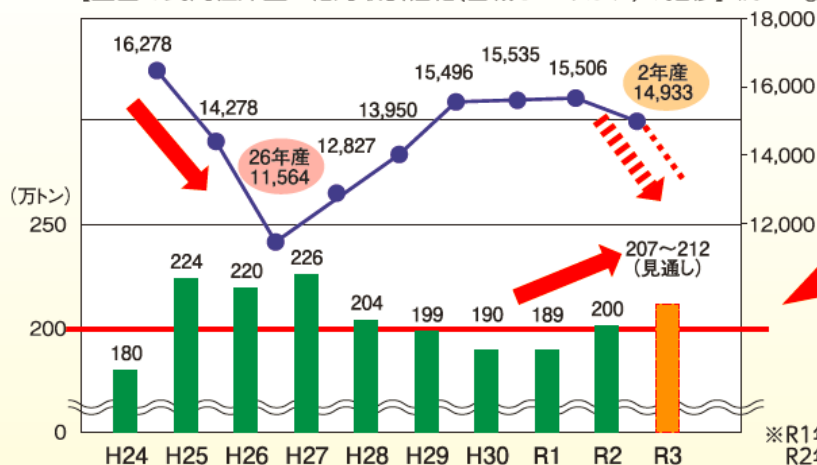
が必要とされています！

## 露地野菜・飼料用米・大豆

などへの作付転換を進めましょう！

民間在庫量が積み増しており、米価の下落が懸念されています

【全国の民間在庫量と相対取引価格(宮城ひとめぼれ)の推移】(円/60kg)



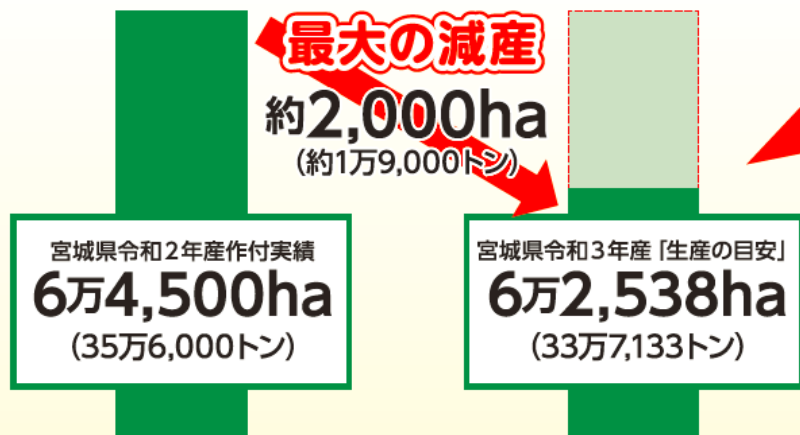
平成26年産に  
匹敵する…

民間在庫量  
200万トン  
を超える見通し

※R1年産は出回り～R2年8月まで  
R2年産は出回り～R2年10月の平均価格

- 主食用米は消費減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等で、需要が減少しています。
- 民間在庫量が大幅に積み上がり、米価下落が懸念されます。

「生産の目安」設定以降、最大の減産が必要とされています



例えば・・・  
経営規模でみると

3haの場合 10a  
10haの場合 30a  
30haの場合 1ha  
追加の作付転換  
が必要です。

- 「生産の目安」設定以降、最大の減産が必要とされており、令和2年産作付面積に比べて、県全体で平均3%の減産が必要となっています。

# 露地野菜 を導入して、所得を向上しましょう！

令和2年産の例 ばれいしょ<sup>※1</sup> 1ha以上取り組んだ場合

※1 高収益作物

● 1ha以上の大規模な取組に対して 5万円/10a 大規模露地園芸助成

販売収入 12.9万円/10a + 交付金 5万円/10a

さらに、新たに畑地化して、取り組んだ場合<sup>※2</sup>

※2 取組1年目

● ばれいしょの新たな導入に対して 2万円/10a 高収益作物定着促進支援

● 水田の畑地化に対して 10.5万円/10a 高収益作物畑地化支援

販売収入 12.9万円/10a + 交付金 17.5万円/10a

● 露地野菜導入に関するお問い合わせ先 宮城県農政部園芸振興室022-211-2843

# 主食用米から、飼料用米 に転換しましょう！

令和2年産の例

※多収が見込める品種に積極的に取り組みましょう

● 飼料用米の作付への平均交付単価 約8万円/10a 戦略作物助成

● 8割以上の方が、複数年契約で 1.2万円/10a 複数年契約助成

● 9割以上の方が、低コスト化の取組で 3千円/10a 低コスト生産助成

販売収入 + 交付金 9.5万円/10a

収量に応じて  
最大 12万円/10a

# 大豆 の作付面積を、1割増やしましょう！

令和2年産の例

● 大豆の作付に対して 3.5万円/10a 戦略作物助成

● 1等 収量161kg/10a(平均単収)の場合 2.9万円/10a 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

販売収入 + 交付金 6.4万円/10a

- ・機械・設備の導入については、補助金等支援メニューもありますので、ご相談ください。
- ・上記は令和2年度の助成内容です。令和3年度については、国との協議等により、項目及び取組内容が変更となる場合があります。詳細は、令和3年2月頃にお知らせする予定です。
- ・詳しくは、宮城県農業再生協議会、またはお住まいの地域農業再生協議会(市町村・JA)にお問い合わせください。(宮城県農業再生協議会事務局)宮城県農政部みやぎ米推進課 022-211-2842